

10月10日9時00分 CRT スタジオで収録

明日から「新聞週間」。毎日30分間、新聞に親しみ、自分で考える力、批判的思考能力を身につけよう！

開倫塾

塾長 林明夫

Q1：明日、10月15日から1週間は、新聞週間だそうですね。

A：はい、その通りです。

(1) 明日10月15日は、「新聞配達の日」です。雨の日も、風の日も、雪の日も、又、暴風や台風の日も、毎日欠かさず新聞を配達して下さる



「新聞配達員」の皆様に感謝をささげる日だと、私は考えます。ありがたいことです。

(2) また、10月15日は「新聞少年の日」でもあります。新聞配達をして下さる少年・少女の皆様に感謝をささげる日だと、私は考えます。新聞を配達して下さる皆様にお会いしたら、「ありがとうございます」と感謝の言葉を述べることを提案します。

(3) 10月22日は「新聞広告の日」です。新聞には、生活に役に立つ広告が掲載されています。よく考えれば、新聞社は、購読料金だけでは経営が成り立ちません。生活に役に立つ広告を出す皆様がいて、新聞は毎日届けられます。「新聞広告の日」は、新聞広告の大切さを理解する日でもあると、私は考えます。



Q2：それではお聞きします。新聞とは何ですか、何のために新聞は発行されているのですか。

A：(1) 新聞は「社会の番犬 (Watch dog)」、社会の中で起きた様々な出来事を、正確に、冷静に、分析的に、5W1H (いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように) の形で報道し、読者に知らせるものです。

(2) そして、何かおかしいことがあれば、「ここがおかしいよ」と「わんわんと大きな鳴き声」で社会に知らせてくれる「社会の番犬 (Watch Dog)」、それが新聞の役割と、私は考えます。

(3) ですから、新聞記者の皆様は、何が社会で起きているかを、正確に、冷静に、分析的に読者に伝えようと、日夜、取材活動に専念しておられます。

(4) ただし、記者の皆様が取材した内容のすべてを、新聞に掲載することはできませんので、編集者の皆様が優先順位をつけ、大切なものから順番に紙面に掲載します。紙面を編集するため、数行の「小さな記事」になったものでも、よく読むと大切なものがたくさんあります。



Q 3 : 新聞を読むとどのようなことがわかりますか。

A : (1) 新聞を毎日、たとえ 30 分でも、1 面からじっくり読むと、「世の中で起きていること」が少しずつわかってきます。自分が住む地域のことだけでなく、日本や世界各地で起きていることが、少しずつわかってきます。



(2) また、新聞を毎日 30 分以上読んでいると、1 ページめの「1 面」には、日本や世界のトップニュース、「1 面」の下の方には、「コラム」があることがわかります。

○この「コラム」は、各新聞社で一番文章のうまい人が担当しているようです。とてもためになり、面白いものです。

○中学入試、高校入試、大学入試、大学院入試、就職試験、国家試験などの作文や論文対策として、「コラム」を毎日原稿用紙に書き写すことを、私はおすすめします。

(3) 「2 面」からは、「社説」「論説」「国内政治」「国内経済」「国際政治」「国際経済」「教育」「科学」「医療・介護・福祉」「家庭・健康」「文化・芸術」「読書」「囲碁・将棋」「和歌・俳句」「連載小説」「連載漫画」「投書欄」「自叙伝」「スポーツ」「社会」「地域」「地域経済」「亡くなった人」「人事異動」などが目白押しです。

○「社説」は、大切なテーマについて、その新聞社としての考えをまとめたものです。ぜひ、毎日お読みください。

(4) また、「調査報道」という、各新聞社が、これは大切なものとテーマを決め、チームを組み、膨大なエネルギーを注ぎ、調査を積み重ねて報道する「記事」もあります。しっかりお読みください。

Q 4 : 新聞を毎日読むと、どのような力がつくとお考えですか。

A : (1) 「自分で考える力」、特に、「これはちょっとおかしいのではないかと判断する力、与えられた情報を「うのみにしない力」、つまり、「批判的思考能力」が確実に身に着くと考えます。「クリティカル・シンキング (critical thinking)」をする力ですね。



○例えば、「チャット GPT」でいろいろなことを調べても、その答えがすべて正しいとは限りません。正しいかどうかを判断するのは、調べている人自身だからです。

(2) 「読解力」が身に着きます。「読解力」とは、文字や文章、様々な・新しい・与えられた情報を、正確に、論理的に、分析的に、「読み解く力」が確実に身に着きます。

○学校の勉強では、教科書や資料集などを正確に読み解かなければなりません。定期試験や模擬試験、検定試験、国家試験、入学試験では、限られた試験時間の間に、与えられた問題文の全文を読み解き、正解を導かなければなりません。試験で絶対に必要なのは、「読解力」です。読解力なしでは、どのような試験でも合格できません。

\* 受験勉強に新聞は不可欠です。受験生はご自宅で購読してください。

(3) 「創造性・表現力」が身に着きます。なぜなら、「創造性・表現力」の前提は、世の中で何が起きているかを知ること、自分の力で考えること、「批判的思考能力」だからです。

Q 5 : 最後一言どうぞ。

A : (1) 新しく仕事を始める人、「起業家」こそ、新聞を毎日 30 分以上、1 面から舐めるように読み、社会の動きを知ることが大切です。なぜなら、これから必要な仕事とは、社会の課題解決に役立つ仕事だからです。何が社会の課題かを知るには、新聞を読むことが不可欠です。



(2) これから、小学校、中学校、高校、大学、大学院で、調べ学習、探究型学習、アクティブラーニングが盛んになり、調査・研究をする際に役に立つのが「新聞」です。新聞なくして、調べ学習、探究型学習、アクティブラーニングはできないと考えます。

(3) 主権者として選挙権を行使する場合に、新聞を読み、現在の社会の問題は何かを知り、それと同時に、候補者や政党の考えを知ることが大切です。

(4) 新聞はどこで読んだらよいのか。一番によいのは、自宅で購読すること。それができないのなら、学校図書館、公共図書館、大学図書館など、図書館で読むことをおすすめします。

○新聞を購読していない家庭が増えたので、皆様が集まる場では、お金を出し合い、新聞を何紙か購読することをおすすめします。

